

2022年度 第1回 茨城県社会福祉士会 社会福祉士共通基盤研修実施要綱

1. 本研修の目的

社会福祉士は、それぞれの実践の場において、ソーシャルワーカーとしての役割と機能を果たすことが求められています。これらの役割と機能を果たしていくために、(公社)日本社会福祉士会では、生涯にわたり研鑽を積み重ねて行くべき共通の研修課題として、「権利擁護」「生活構造」「相談援助」「地域支援」「福祉経営」「実践研究」の6つの共通基盤を設定しています。

今回の研修は、「権利擁護」分野を研修課題とし、有限会社 With A Will 代表取締役社長市川 知律氏を講師に迎え、「三重県高齢者・障がい者虐待防止専門職チームの取り組み」をテーマに、三重県の虐待対応専門職チームが独自に取り組む、自治体との共同作業の実践と10年の取り組みの成果や課題をお話いただき、私たち社会福祉士がどのように対応し、どのような役割を果たして行くべきか、講義や演習を通じて学び合いたいと思います。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

2. 期日

2022年11月26日(土)

3. 場所

セキショウ・ウェルビーイング福祉会館 大研修室 (茨城県総合福祉会館)
茨城県水戸市千波町1918

4. 対象者

福祉現場で実践をおこなっている社会福祉士(非会員の方も受講可能)

5. 定員

50名

6. 研修日程

別添、研修プログラムのとおり

7. 受講料

- ・会員 4,000円
- ・非会員 6,000円

8. 申し込み方法

茨城県社会福祉士会のホームページにある専用フォームからお申込みください。

掲載ページ：研修情報→茨城県社会福祉士会主催→共通基盤研修

◆アドレス→<http://www.csw-iba.org/mailform.php?code=100>

右のQRコードを読み取ると、申込フォームにアクセスできます。



- ・申込後、事務局から請求書を送付いたしますので、お近くの金融機関から指定口座に参加費用を振り込んでください。なお、振込手数料は各自ご負担ください。

裏面に続きます

9.申し込み期限

2022年11月15日(水)

定員になり次第締め切ります

10.その他

- (1) 受講申し込み後、欠席または申し込み事項の変更があった場合は、速やかに下記までご連絡ください。
- (2) 集合型での開催を予定しておりますが、新型コロナウイルスの感染状況によりオンラインでの研修に変更になる場合もございます。その際は事前にご連絡いたします。
 - ① オンラインでの研修に変更の場合は、研修日の約1週間前までに、Zoom仕様の説明書、当日のZoom入室URLとID・パスワードをメールにてご案内いたします。
 - ② オンライン開催時にはマイク・カメラがついたパソコンやタブレットなどの機器と安定したインターネット環境が必要です。

11.お問い合わせおよび参加申し込み先

茨城県社会福祉士会事務局

〒310-0851

茨城県水戸市千波町1918 セキショウ・ウェルビーイング福祉会館5階

電話：029-244-9030 FAX：029-244-9052

E-mail：csw-iba@ibaraki.email.ne.jp

講師紹介

いちかわ ともりの
市川 知律

身体障害者療護施設や障害者小規模作業所所長を経て、平成17年に市川社会福祉事務所を設立し、現在、有限会社 With A Will 代表取締役社長。

現在、日本社会福祉士会アドバイザー(元権利擁護事業担当理事)、三重県社会福祉士会虐待防止委員会委員、三重県社会福祉士会権利擁護委員会ばあとなあみえ委員、三重県相談支援専門員協会会長、三重県高齢者障害者虐待防止チーム監事、三重県成年後見制度利用促進市町村支援事業アドバイザー、三重県自立支援協議会人材育成検討部会委員兼アドバイザー等、権利擁護関係の役職に多数従事。

<主な出版物>

『意思決定支援の難しさ(民事法研究会)』 他

2022年度 第1回 茨城県社会福祉士会 社会福祉士共通基盤研修プログラム

11月26日(土)

時 間	内 容
9:30～	受付開始
9:50～10:00	事 務 連 絡
10:00～12:00	【講義】《権利擁護》 三重県高齢者・障がい者虐待防止専門職 チームの取り組み ～自治体と連携した従事者虐待の検証 作業と再発防止～
12:00～13:00	昼食休憩
13:00～16:00 随時休憩を含む	【演習】《権利擁護》 「施設従事者による虐待への対応を体験 してみよう」